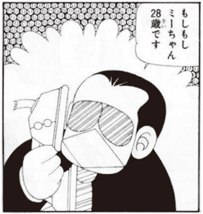
「パタリロ！」への登場が飛躍的に増える

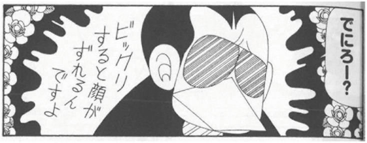

もしもし
ミーちゃん
28歳です

2016年
『花LaLa online』5月20日
（「パタリロ！」ミーちゃん引っ越し）

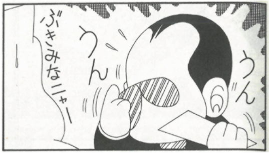
2009年
『パタリロ！』85巻より

ウェブへの移行を機に、「パタリロ！」をエッセイマンガ風にしたことにより、ミーちゃんの登場が一気に増える。

造形の変化 ④
顔面崩壊ネタの登場


でにろー？
ビッグリすると顔がずれるんですよ

2016年『花LaLa online』7月15日
（「パタリロ！」わがはいは猫ミーちゃん）

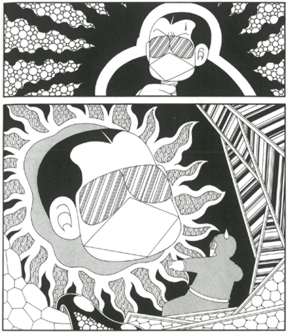

うん
うん
ぶきみなニャー

同上

２０１６年にはミーちゃんの顔が崩れるネタが登場する。生身の役者にはなかなかできない、フィクション世界のキャラクターだからできる芸当である。

※２０１６年、２０１８年に「パタリロ！」が舞台化。ミーちゃん先生として、ぬいぐるみが舞台に上がった。

ミーちゃんの新しい冒険

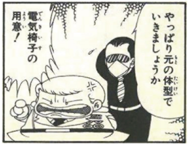


『マンガPark』２０１７年１２月２８日（「パタリロ！」イカロスの羽Ⅷ）

ミーちゃんは、２０１７年（「パタリロ！」９８巻）に始まったファンタジー長編「イカロスの羽」の主人公として活躍。このシリーズは第１００巻のラストで「未来へ――」のセリフと共に完結した。

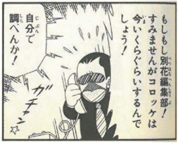
※２０１９年に実写版「翔んで埼玉」が劇場公開予定。本人役として作者が登場する。

造形の変化 ③
口のひし形が大きくなり始め


やっぱり元の体型でいきましょうか
電気椅子の用意！

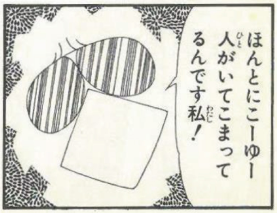
1994年
『別冊花とゆめ』10月号
（「パタリロ！」名探偵の犯罪）

造形の変化 ④：
舌があるバージョンも登場


もしもし別花編集部！すみませんがコロッケは今いくらぐらいするんでしょう！
自分で調べへんか！
ガチャン

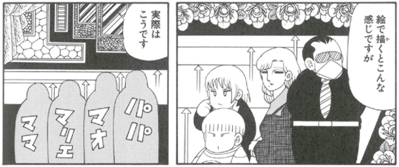
1994年
『別冊花とゆめ』12月号
（「パタリロ！」雪の王国）

造形の変化 ⑤
輪郭のないミーちゃんも増える


ほんとにこーゆー人がいてこまってるんです私！

1995年
『別冊花とゆめ』4月号
（「パタリロ！」美しきエレーヌ）

エッセイマンガで活躍


絵で描くとこんな感じですが
実際はこうです
パパ
マオ
マリエ
ママ

2002年『シルキー』2月号
（「親バカ日誌」Vol.33）

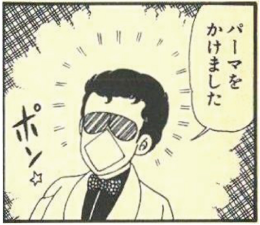
パパの子育て親バカまんが!?
親バカ日誌
魔夜峰央

1990年代後半から、ミーちゃんはエッセイマンガで主役として大活躍。「パタリロ！」への出演は減る。

2001年
『パタリロ西遊記！』2巻より

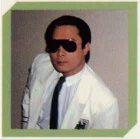
※アニメ「パタリロ西遊記！」が2005年に放送開始。ミーちゃんがナレーションとして登場。声は声優の堀内賢雄があてた。2007年には舞台化し、本人が出演した。

造形の変化①
髪型が変わる


パーマをかけました
ポン

1984年『花とゆめ』17号
「パタリロ！」エーデルワイス

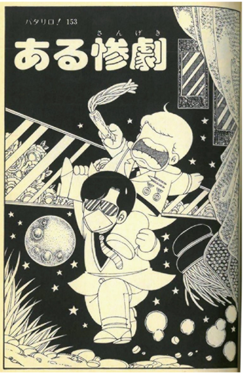
著者近影の髪型が微妙に変わっている。またサングラスが別のものになり、ミーちゃんのサングラスに反映されている。



1985年
『パタリロ！』25巻より

※1983年7月劇場アニメ「パタリロ！スターダスト計画」公開（東映系）。ミーちゃんが登場し、魔夜峰央が声をあてている。ちなみに本作主題歌「RUN AWAY 美少年達（ローズボーイズ）」も魔夜峰央が歌っている。

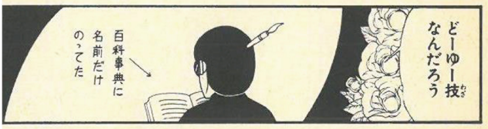
造形の変化②
前髪をおろす


パタリロ！ 153
ある惨劇（さんげき）

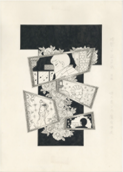
1987年『花とゆめ』18号
（「パタリロ！」ある惨劇）

トビラにバーンと登場。トビラには他にもちょくちょく登場するが、当時こんなに大きく登場するのは珍しい。

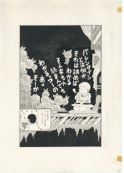
後ろ姿のシーンが増える


どーゆー技（わざ）なんだろう
百科事典に名前だけのってた

1990年『花とゆめ』6号「パタリロ！」宇宙翔ける関取



1986年『花とゆめ』14号
（「パタリロ！」時間よとまれ）


バレンタインとは何か
それは読めばわかる
そんなもん読まんでもわかるっつーの
あっ そーか

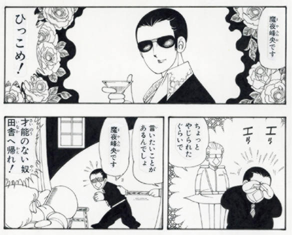
1987年『花とゆめ』4号
（「パタリロ！」あなたにバレンタイン）

後ろ姿で登場するシーンは、机に向かって作画していたり、本を読んでいたりしながら、ちょっとつっこみを入れていたりする。後ろめたさから目をそらしている例も。

る

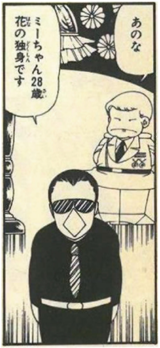
しだす

名乗りの変遷 ③
繰り返す


魔夜峰央です
ひっこめ！
エッ
エッ
ちょっとやじられたぐらいで
言いたいことがあるんでしょ
魔夜峰央です
才能のない奴田舎へ帰れ！

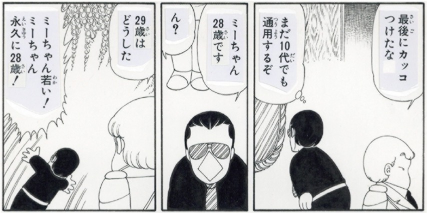
1981年『花とゆめ』14号
「パタリロ！」(プラズマ・パパ)

名乗りの変遷 ④
自称「ミーちゃん」


あのな
ミーちゃん28歳花の独身です

1981年『花とゆめ』16号「パタリロ！」(ニャンコはニャンコ)

名乗りの変遷 ⑤
永遠の28歳ミーちゃん


最後にカッコつけたな
まだ10代でも通用するぞ
ミーちゃん28歳です
ん？
29歳はどうした
ミーちゃん若い！ミーちゃん永久に28歳！

1982年『別冊花とゆめ』春の号
「ミーちゃん28歳 最後のあがき」

の併用＋名乗りを繰り返すギャグ。

※1982年4月テレビアニメ「パタリロ！」放送開始（フジテレビ系列）

「ミーちゃん」と自称したおそらく最初のシーン。また「ミーちゃん28歳」はその後定番のフレーズとなる。カバー折り返し部分に著者の写真が掲載されはじめる。

1982年
『パタリロ！』
11巻より

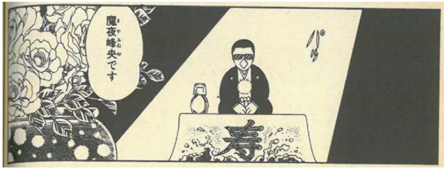
1982年
『ラシャーヌ！』
3巻より

1982年
『パタリロ！』
15巻より

誕生日を過ぎても28歳と名乗り、ミーちゃんは永遠の28歳となった。

1980年『花とゆめ』23号（「パタリロ！」恋の旅路）

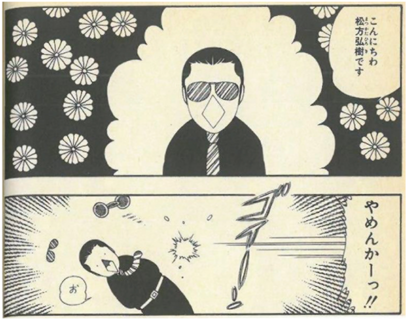
名乗りの変遷 ①
魔夜峰央です


魔夜峰央（まやみねお）です
パッ

1980年『花とゆめ』24号（「パタリロ！」パタリロ忠臣蔵）

最初のあいさつで「魔夜峰央です」と名乗る。口上役としての登場。このまま忠臣蔵の説明を始める。紹介者役での登場はこのあともしばしばみられる。

名乗りの変遷 ②
二枚目を騙る

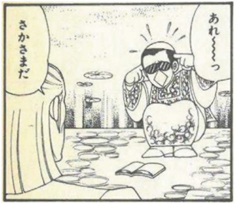

こんにちわ
松方弘樹（まつかたひろき）です
やめんかーっ!!
ゴッ
お

1981年『花とゆめ』3号（「パタリロ！」雪がやんだら）

登場する際に二枚目を騙りだす。松方弘樹のほかに、トム・クルーズなども。

※1981年『別冊花とゆめ』春の号誌面で、似ていると評判だったタモリと共演。一緒にクックロビン音頭を踊っている。

役者としての登場

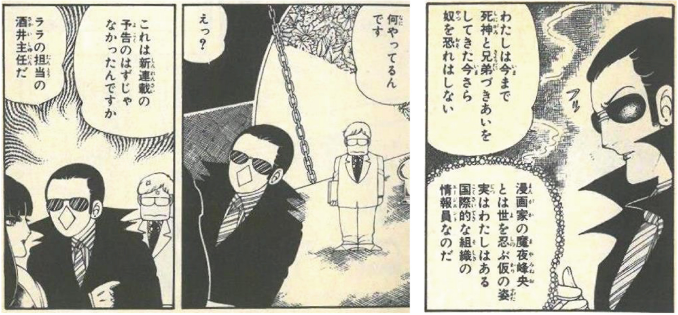


1981年『花とゆめ』13号
「パタリロ！」（ゲルマン城の虜）

ミーちゃんは、ボケ役、場つなぎ、補足説明役（口上役などがそう）、通行人など、たくさんの役割をこなす。ここでは神父役を務める。

シリアス調とデフォルメ調

ミーちゃんのデフォルメがはじまる

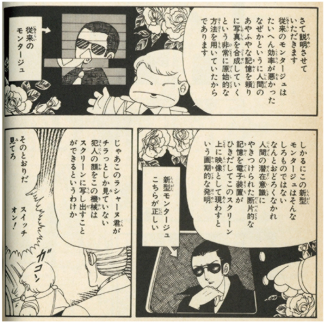

わたしは今まで死神と兄弟づきあいをしてきた今さら奴を恐れはしない
フッ
漫画家の魔夜峰央とは世を忍ぶ仮の姿 実はわたしはある国際的な組織の情報員なのだ
何やってるんです
えっ？
これは新連載の予告のはずじゃなかったんですか
ララの担当の酒井主任だ

1980年『ララ』12月号（横須賀ロビン予告編）

ひし形の口のデフォルメ調のミーちゃんが登場し始め、シリアス調の画風と併用される。

※担当の酒井主任はのちに便器口の酒井としてさんざんいじり倒されることとなる。

「パタリロ！」本編に登場

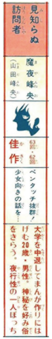

さて説明させていただきます 従来のモンタージュはたいへん効率が悪かった なぜかというに人間のあやふやな記憶を頼りに写真を合成していくという非常に原始的な方法を用いていたからであります
従来のモンタージュ
しかるにこの新型モンタージュはそんなしろものではない なんとおどろくなかれ人間の潜在意識にやきつけられた断片的な記憶を電子装置がひきだしてこのスクリーン上に映像として現わすという画期的な発明
新型モンタージュこちらが正しい
じゃあこのラシャーヌ君がチラっとしか見ていない犯人の顔をこの機械はスクリーンに写し出すことができるというわけか
そのとおりだ見てろ
スイッチオン！
ガコン

「パタリロ！」本編におそらく初登場のミーちゃん。デフォルメ調とシリアス調の差をもちいた絶妙なギャグ。まだセリフはない。

ミーちゃんの冒険（1973〜）

ミーちゃんとは、魔夜峰央が描く、キャラクターとしての魔夜峰央のこと。

自画像の変遷 ①
最初の自画像


見知らぬ訪問者

魔夜峰央（山田峰央）

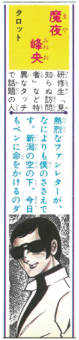
佳作 63回・62回

ペンタッチ抜群！少女向きの話を…

大学を中退してまんが作りにはげむ20歳・男性。神秘を好み俗をきらう。夜行性の一人ぼっち

1973年『デラックスマーガレット』秋の号
デビュー作「見知らぬ訪問者」掲載号

自画像の変遷 ②
劇画調


魔夜峰央

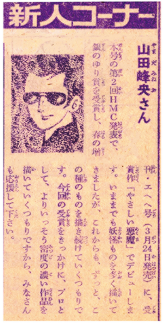
タロット

研修生「見知らぬ訪問者」など特異なタッチで話題の人

熱烈なファンレターが、なによりも僕のささえです。新潟の空の下、今日もペンに命をかけるのダ

1974年『デラックスマーガレット』春の号
読み切り作品「タロット」掲載号
※同年『別冊マーガレット』の「第67回まんがスクール」で銀賞を受賞した同名作品とは別もの。

自画像の変遷 ③
点描

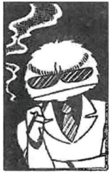

新人コーナー

山田峰央さん

本号の第2回HMC発表で、銀のゆり賞を受賞し、春の増刊・エヘヘ号（3月24日発売）に、受賞作「やさしい悪魔」でデビューします。いままでも妖怪ものを多く描いてきましたが、これからも、ずっと、この種のものを描き続けていくつもりです。今回の受賞をきっかけに、プロとして、よりいっそう密度の濃い作品を描いていくつもりですから、みなさんも応援して下さい。

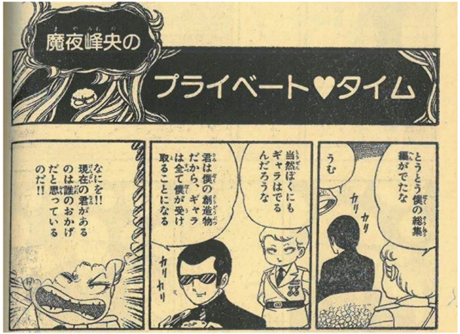
1976年『花とゆめ』7号
HMC第2回銀のゆり賞受賞、再デビュー予告号

自画像の変遷 ④
オスカー



1979年『別冊花とゆめ』
対談「魔夜峰央氏VS竹宮恵子氏 美少年を語る」より

ミーちゃんがマンガの中で動き出す


魔夜峰央の
プライベート♥タイム
とうとう僕の総集編がでたな
うむ
カリ カリ
当然ぼくにもギャラはでるんだろうな
君は僕の創造物だから、ギャラは全て僕が受け取ることになる
カリ カリ
なにを!! 現在の君があるのは誰のおかげだと思っているのだ!!

1979年『別冊花とゆめ』夏の号

肌だけを黒ベタで描いている。この時点で他の投稿者とは異質な雰囲気が漂う。魔夜峰央のPNのそばに本名（山田峰央）がそえられている。

少女マンガ誌のカラーページにモノクロ劇画調の自画像。紹介文に「特異なタッチで話題の人」とあるが、まさに特異。

※図版にある研修生とは、『別冊マーガレット』1973年5月号の「第59回まんがスクール」より設けられた制度。担当編集者がつき、半年間月1万円支給される。魔夜は第3回の研修生（1974年5月号・第71回発表）となった。

シリアス調のミーちゃん像がほぼ完成。点描で描かれているのが印象的。山田峰央（本名）名義。

※スランプの時期を経て、集英社から白泉社に移って再出発。のちの大ヒットにつながる。

魔夜峰央

ペンネームを使ったのは、先輩作家に山田ミネコさんがいて、紛らわしかったこともあります。自分としては当時は本名でもいいと思っていました。語呂がいいので山田の「やま」を逆にして漢字をあてました。

セサミストリートのオスカーが自画像だった時期がある。シリアス調と併用されている。

魔夜峰央

自画像に使ったのはオスカーが好きだったからです。なぜオスカーを自画像にしようと思ったかはもはやわからないです。

マンガ内で動いて話すもっとも初期のころのミーちゃん。パタリロとのかけあい形式。よく見るとタイトル部分にオスカーがいる。